

いもち病に注意！

今年の天候はいもち病が発生する好適条件となっているため、注意が必要です。臼杵市でも葉いもちが発生している地域が見られ、**特に、山間のなつほのか、ヒノヒカリには進行型病斑が確認されています。**

□ 葉いもちは伝染源となり穂などに感染し、収量・品質の低下に繋がるため、葉いもちが多く見られる場合は、早めの防除に努めましょう。



葉いもちの病斑

★防 除

苗箱剤のいもち病に対する防除効果は約30日のため、**写真(中・右)のような病斑を確認した場合は、必ず防除してください。**ドローン防除などを実施した圃場でも上位葉への進行が止まらない場合は、下記薬剤を効果的に使用してください。

【防除薬剤】

ブラシンプロアブル	300倍・25l/10a	収穫7日前まで
〃	1000倍・60～150l/10a	収穫7日前まで
コラトップ1kg粒剤	1～1.5kg/10a	出穂30～5日前まで
コラトップ豆粒	250g/10a	出穂30～5日前まで
コラトップジャンボP	500g(50g×10パック)/10a	出穂30～5日前まで

※使用薬剤の選択は出穂の状況(有・無や出穂するまでの期間)で判断し、粒剤、豆粒、ジャンボ剤は稲に成分を吸収させるために、湛水状態に保つ。

大分県農協 南部事業部 0974-32-2535(野津) 0972-63-1147(臼杵)
臼杵市 農林振興課 0974-32-2220
大分県 中部振興局 集落営農・水田畑地化班 097-506-5791